

## 第 1 節 公害苦情の件数

### 1 公害苦情の件数

平成28年度の公害に関する苦情件数は219件で、前年度よりも26件増加しています（表12-1、図12-1）。

表12-1 年度別公害苦情の件数

年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地下水	その他	合計
19	26	64	60	7	80	0	3	6	246
20	21	51	70	6	88	0	1	3	240
21	13	44	69	8	73	0	1	2	210
22	18	49	85	22	51	0	1	5	231
23	8	31	72	10	52	0	1	1	175
24	16	42	74	9	48	0	1	6	196
25	14	34	74	14	50	0	1	8	195
26	11	30	89	7	27	0	0	8	172
27	7	42	86	11	41	0	3	3	193
28	14	42	81	15	61	0	0	6	219

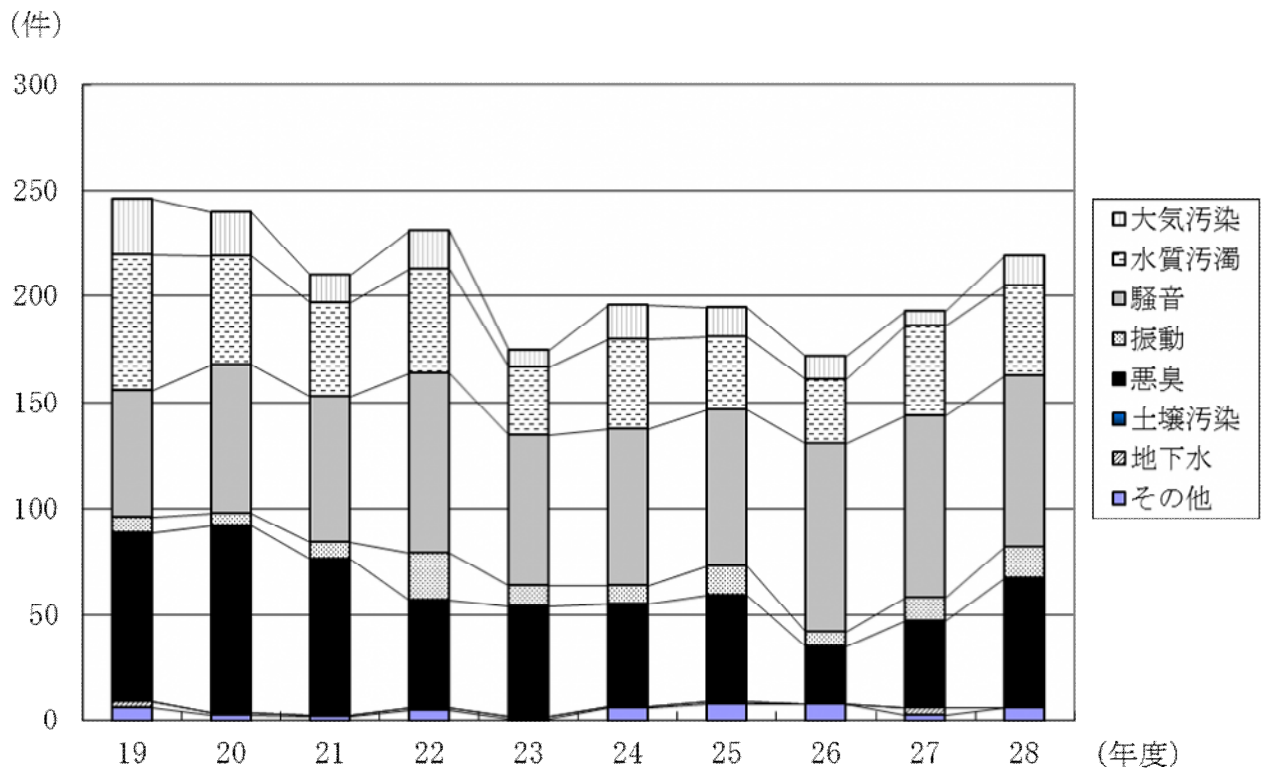


図12-1 年度別公害苦情件数の推移

## 2 種類別の苦情件数

苦情件数を種類別にみると、騒音の苦情が最も多く、以下、悪臭、水質汚濁の順となっています（図12-2）。

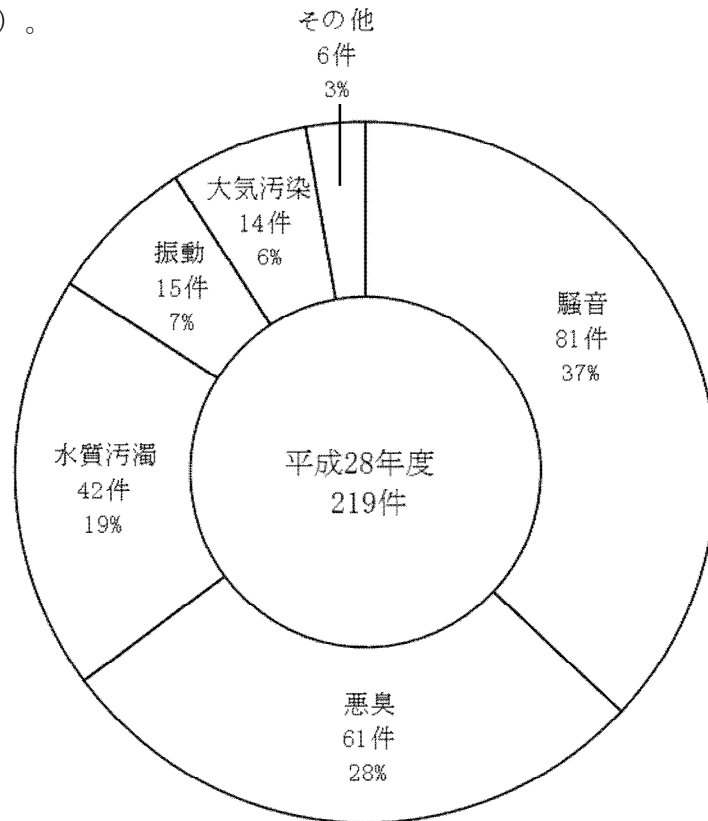


図12-2 種類別苦情件数

## 3 月別の苦情件数

苦情件数を月別にみると6月が最も多くなっています（図12-3）。

(件)

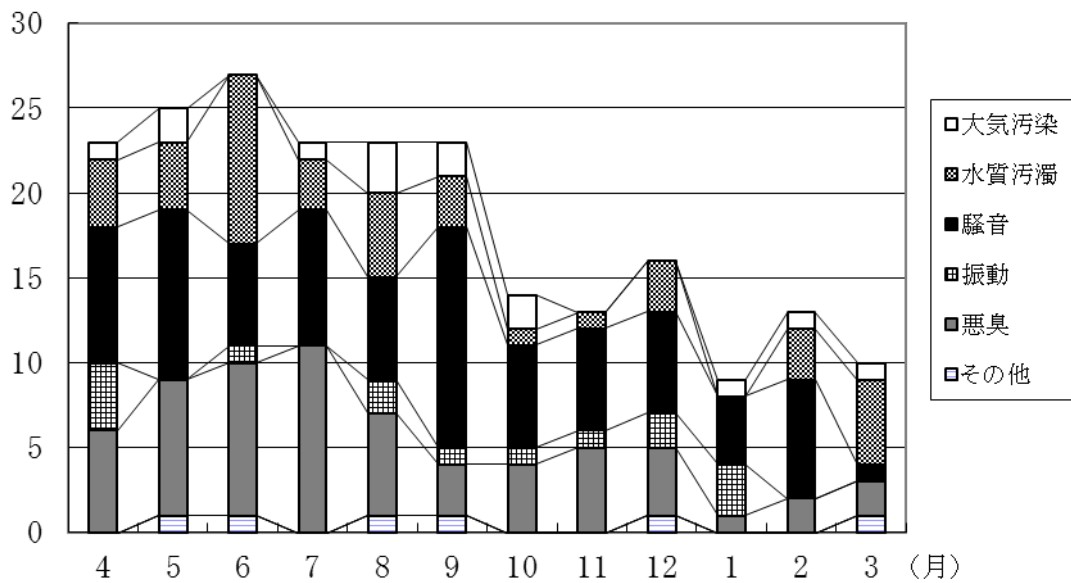


図12-3 月別の苦情件数

#### 4 業種別の苦情件数

苦情発生源を業種別にみると、苦情件数が最も多かったのは総合工事業の58件で、次いで、サービス業の38件、家庭生活(ペットも含む。)の28件となっています(表12-2)。

表12-2 発生源の業種別の苦情件数

業種	大気	水質	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計	
耕種農業									
畜産養蚕農業		1			2			3	
農業サービス業					1			1	
林業									
漁業									
金属工業				1				1	
石炭原油鉱業									
非金属工業									
総合工事業	3	5	35	12	2		1	58	
その他工事業	1	1	9	1	2			14	
製造業	食料品製造業	2	3	2		4		11	
	繊維工業								
	木材製造業			1				1	
	パルプ製造業								
	出版関連産業								
	化学工業								
	石油製造業								
	プラスチック製造業								
	ゴム製造業								
	窯業等製造業		1						1
	鉄鋼非鉄金属			1					1
	機械器具製造								
	その他製造業			1					1
	(小計)	2	4	5		4			15
電気ガス等									
水道業									
鉄道業			1					1	
旅客輸送業			1					1	
貨物輸送業									
航空運輸業									
その他運輸業		1						1	
サービス業	再生資源卸売								
	卸売・小売業		1	2		2		5	
	飲食業		1	2		10		13	
	飲食店のカラオケ			1				1	
	洗濯理容業等			2				2	
	駐車業								
	生活関連サービス								
	旅館等	3						3	
	娯楽業								
	娯楽業のカラオケ			1				1	
	ゴルフ場業等								
	自動車整備業		1	1		2		4	
	機械修理業								
	専門サービス業								
廃棄物処理業	1	1	1				3		
医療業等	1						1		
社会保険福祉			3				3		
教育等			1				1		
その他サービス業			1				1		
(小計)	5	4	15		14			38	
公務									
家庭生活	1	5	4		14		3	27	
家庭生活ペット					1			1	
事務所			1		2			3	
道路									
空地									
公園					1			1	
神社寺院等									
その他	2	8	7	1	8		2	28	
不明		13	3		10			26	
合計	14	42	81	15	61	0	6	219	

## 5 用途区域別の苦情件数

苦情の発生源を用途地域別にみると、苦情件数が最も多かったのは住居区域の102件で、次いで商業地域の40件となっています（表12-3）。

表12-3 用途地域別公害苦情件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
住居区域	6	15	42	8	27	4	102	46.6
近隣商業	1	2	5	3	3		14	6.4
商業	3	4	19	1	12	1	40	18.3
準工業		3	1		5		9	4.1
工業	1	1	1				3	1.4
工業専用		2	1	1	1		5	2.3
調整区域	1	7	6	1	4	1	20	9.1
その他	2	7	5	1	6		21	9.6
特定できず		1	1		3		5	2.3
合計	14	42	81	15	61	6	219	100

## 6 被害の種類別の苦情件数

苦情原因を被害の種類別にみると、苦情件数が最も多かったのは感覚・心理的の170件で、次いで健康の38件となっています（表12-4）。

表12-4 被害の種類別公害苦情件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
健康	3	4	12	3	13	3	38	17.4
財産		1					1	0.5
動物・植物		1					1	0.5
感覚・心理的	10	31	69	12	47	1	170	77.6
その他	1	5			1	2	9	4.1
合計	14	42	81	15	61	6	219	100

## 第2節 公害苦情の概況

### 1 大気汚染

苦情件数は14件で前年度より7件増加しました（図12-4）。

ばい煙に関するものが4件、粉じんに関するものが10件となっています。

建設作業中の散水不足による粉じん被害が7件と多く、施工業者への周知及び指導を行っています。

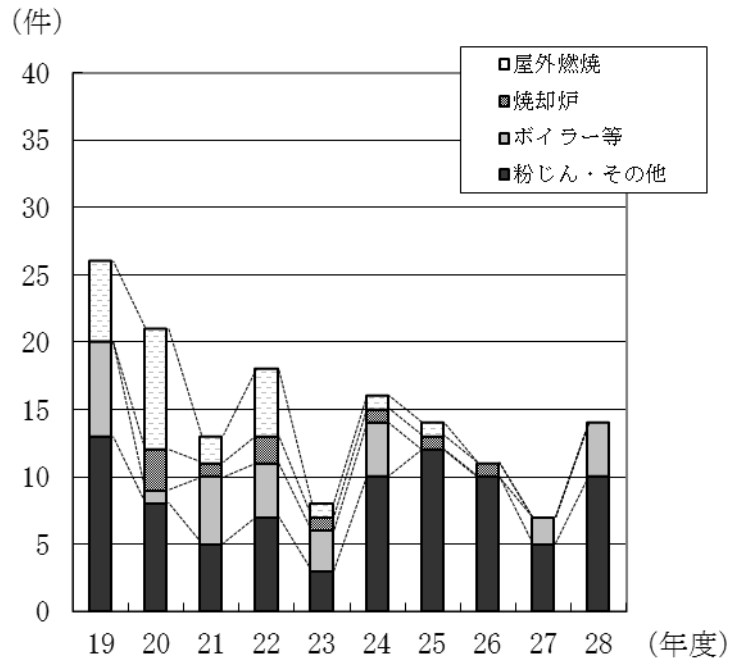


図12-4 大気汚染苦情内訳

### 2 水質汚濁

苦情件数は前年度と同数の42件です（図12-5）。

種類としては、汚水30件、油流出12件となっています。

河川汚濁事故対策としては、発生源に対する汚水処理の適正指導、汚濁物質の取扱い事業所に対する文書指導、広報誌による意識啓発等を行っています。

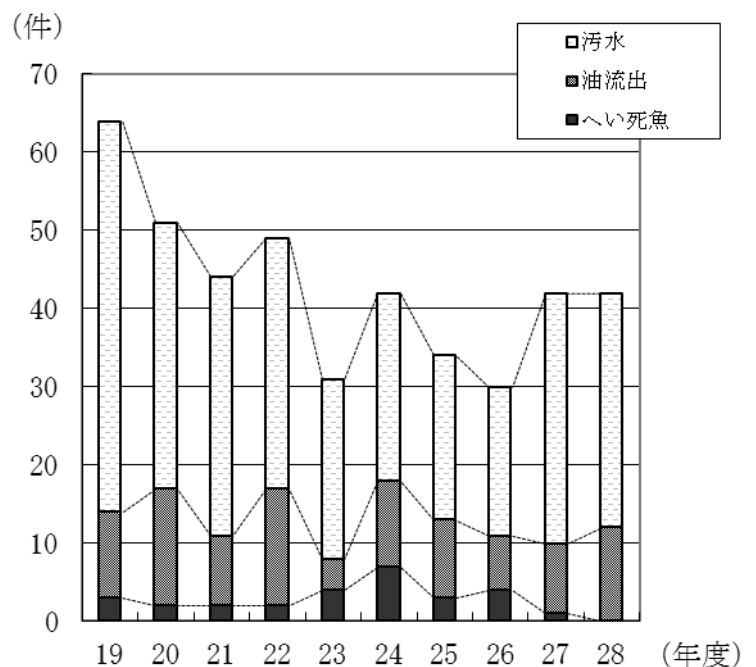


図12-5 水質汚濁苦情内訳

### 3 騒音

苦情件数は81件で前年度より5件減少しました（図12-6）。

発生源としては、工場・事業場等8件、建設作業45件、営業騒音15件、拡声機放送1件、その他自動車や家庭生活等12件となっています。

聞く人の身体や心理の状態、聞く時間や周囲の状況によってうるさく感じる度合いが異なり、また、個人の感情面にも左右される要素があります。

さらに、発生源と苦情申立者が隣接しているにもかかわらず、当事者間での話し合いが持たれる前に、苦情として市に申し立てられることが多く、隣人同志のコミュニケーション不足も都市・生活型公害が増加する大きな要因となっています。

現代の都市形態の中で、快適な暮らしを維持していくためには、自分自身の生活だけでなく、他人の生活への配慮が必要です。

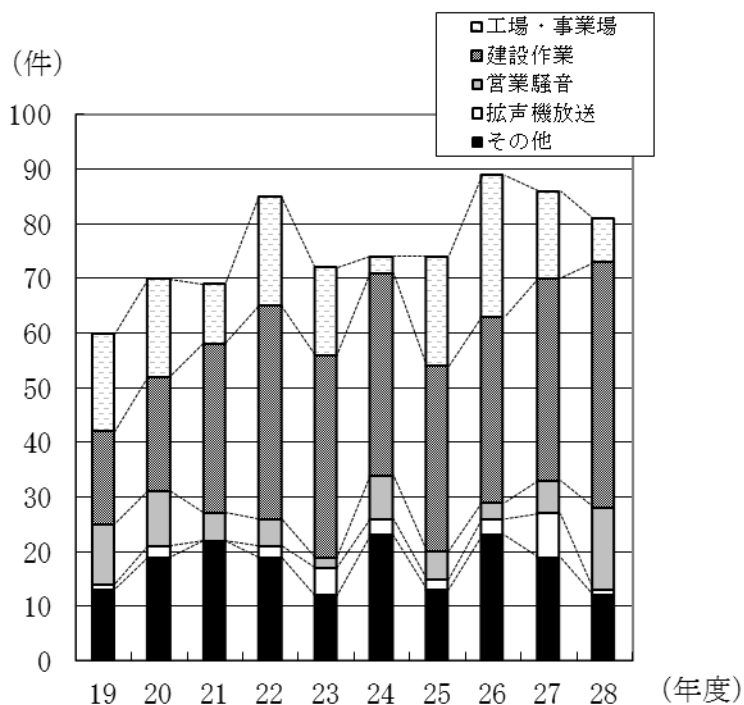


図12-6 騒音苦情内訳

### 4 振動

苦情件数は15件で前年度より4件増加しました（図12-7）。

発生源の内訳は、工場・事業場1件、建設作業13件、その他1件となっています。

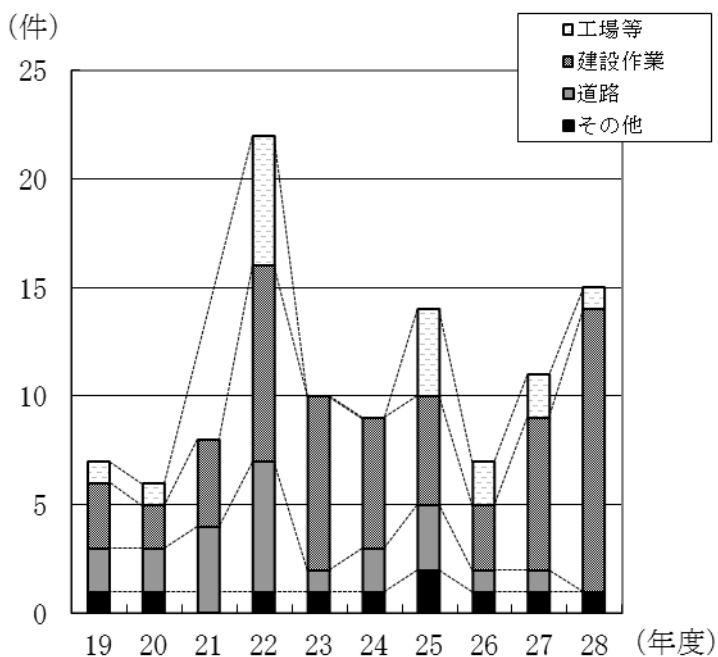


図12-7 振動苦情内訳

## 5 悪 臭

苦情件数は61件で前年度より20件増加しました。主な苦情発生源は畜産・農業3件、家庭生活16件、工場・事業場22件、塗料のシンナー臭2件、その他や発生源不明等16件となっています（図12-8）。

飲食店からの悪臭苦情が増加しています。また、消毒剤に関する苦情など、騒音苦情同様、当事者間のコミュニケーション不足による申立てが増加しています。

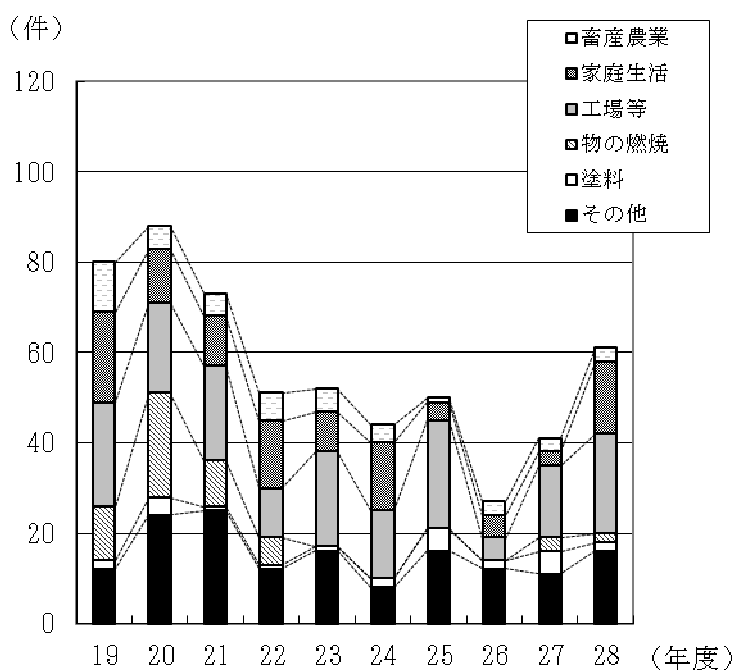


図12-8 悪臭苦情内訳